

8/27(土) 12:50～17:00
防災実践者による分野別のディスカッション
(1)市民セクターの連携

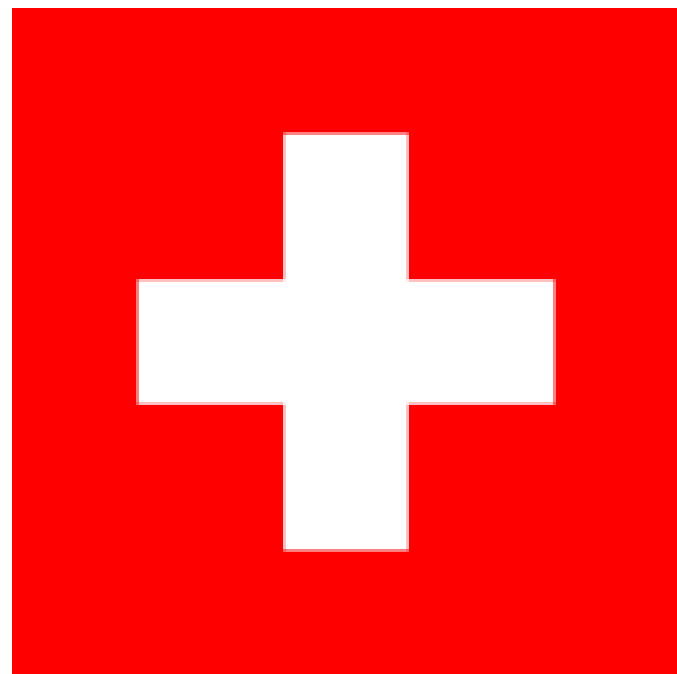
日本赤十字社事業局 救護・福祉部 次長
白土 直樹 様

日本赤十字社の 災害救護活動について



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

- 「赤十字」の名前はみんな知っている
 - 「日本赤十字社」の認知度 98.9%
- 「赤十字」が何なのか、何をしているかは、あまり良く知られていない
 - イメージ⇒献血、病院、人道、博愛・・・
 - 国の機関？ 外郭団体？  ?
 -  ? 

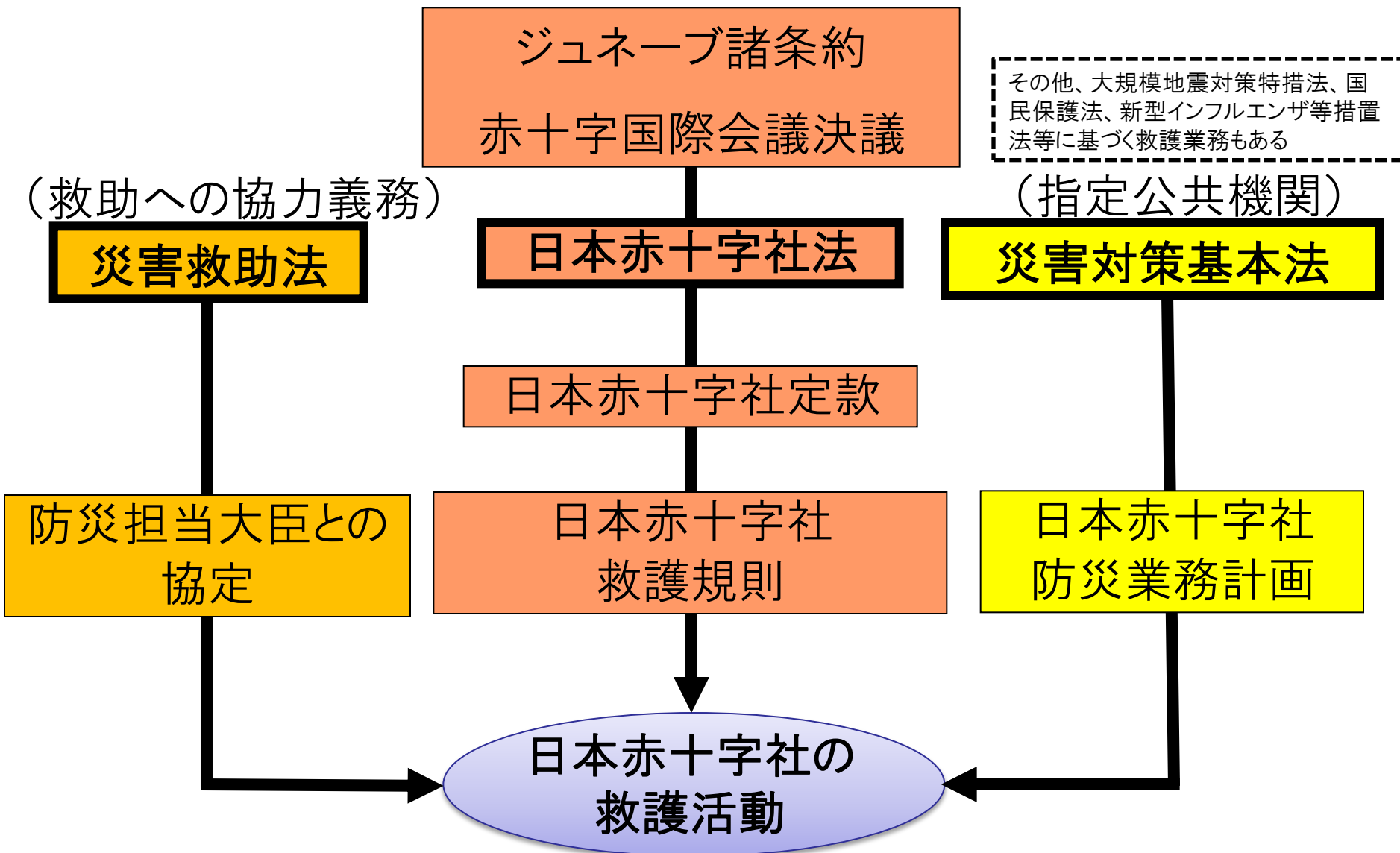


要するに赤十字とは

- 人道を実現するための
民間のムーブメント(運動体)
- 7つの原則に基づき活動

人道
公中
独奉
単一
世界性

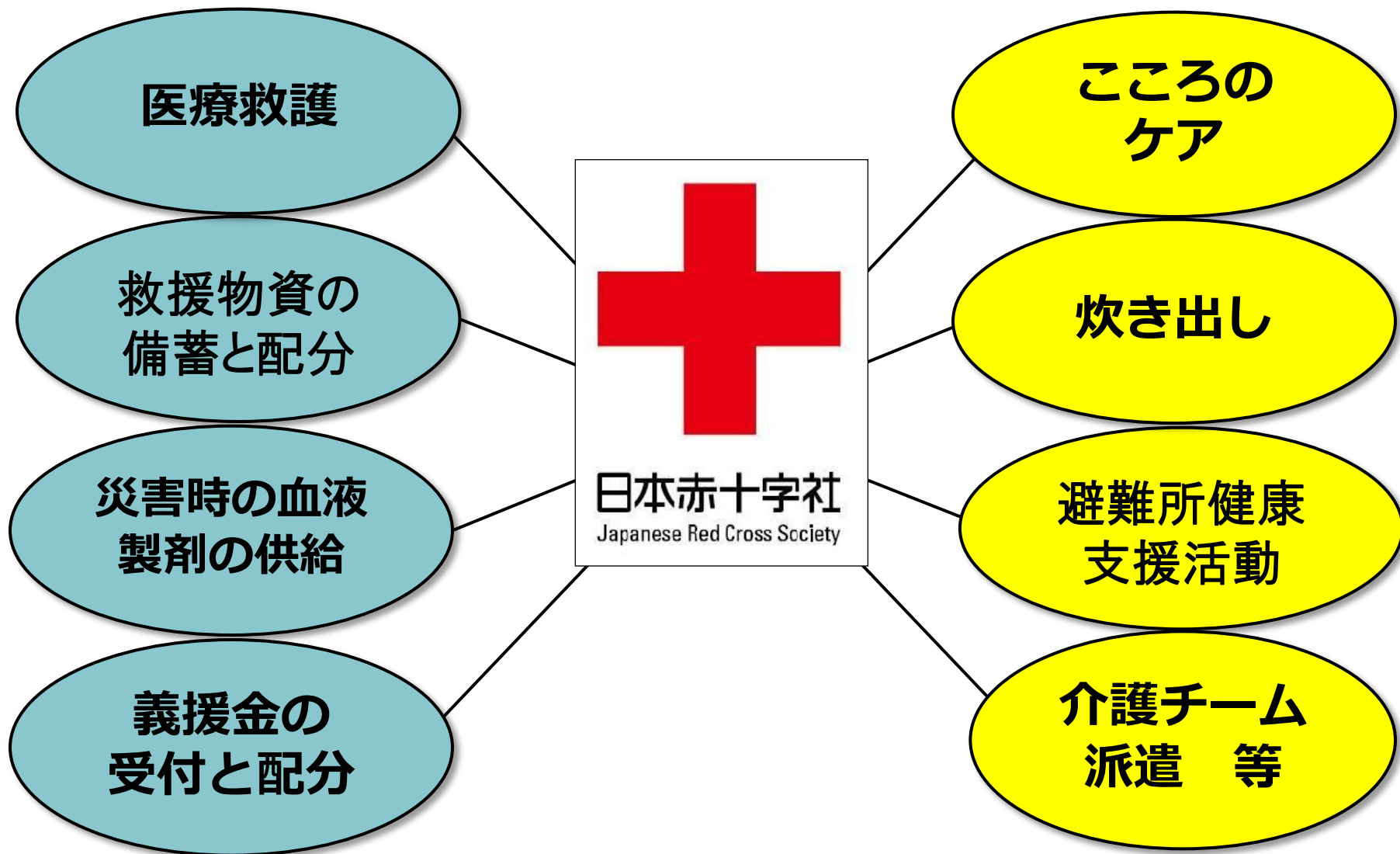
日本赤十字社の救護業務の法的根拠



日本赤十字社の災害救護対応

(日本赤十字社救護規則に定める事項)

(様々なニーズへの対応)



日本赤十字社の救護業務の特徴

- 救護は災害の発生した都道府県支部が実施する
- 当該支部は、救護の必要がある場合、近接の支部に応援を求め、なお救護力が不足する場合はブロックや本社に応援を求める
- 規則に明定された救護活動以外でもニーズに応じて必要とされる支援を行うことがある
- 職員のみならず、予め登録・訓練を受けたボランティア等が活動に従事する
- 官民の他団体等と連携協力しながら行う

日赤の救護活動リソース

(職員数以外は、平成27年3月末現在)

- ・ 職員 65,212人
- ・ 支部 47支部(各都道府県に1か所)
- ・ 病院 92病院 (うち63は災害拠点病院)
- ・ 常備救護班 498班 6,826人(登録救護員:8,777人)
- ・ 日本DMAT隊員 63病院 855人
- ・ 救護車両 777台(うち救急車:162台)
- ・ 医療セット 251セット
- ・ テント 5,430張
- ・ 発電機 1,300台
- ・ 衛星電話 499台
- ・ 無線局:3,560局 (150MHz帯1波、400MHz帯1波)



熊本地震での日本赤十字社の活動



207班 約1,600人

派遣救護班数と人数



654セット

緊急セット配布数



約5,000人

診療傷病者数



22,480枚

毛布配布数



3カ所

dERU(仮設診療所)設置数



11,230枚

ブルーシート配布数



150人

こころのケアチーム派遣人数



7,551セット

安眠セット配布数

熊本地震救護活動の様子



救護テント内で診察する医師（南阿蘇村）



熊本赤十字病院での医療救護活動



安眠セットの配布（益城町）



こころのケア活動

熊本地震における赤十字ボランティアの活動

- 熊本県支部内に赤十字ボランティアセンターを設置・運営
- 救護班の誘導、情報収集、
救援物資の積込みや搬送、
災害対策本部での記録、
募金活動、等
- のべ約250人活動



被災者支援における今後の各団体等との連携

- ・避難所等での協力・分担
ニーズに応じ、それぞれの活動分野・リソースを
整理・分担 → 支援のヌケ・ムラ等を減少
- ・可視化
各団体の活動分野、リソース等の登録、一覧等
- ・連携体制、ツール等の共有化
災害時連携体制、手法・様式等のツール共通化
平時から連携する環境の構築

国際赤十字・赤新月運動および災害救援を行う非政府組織(NGOs)のための行動規範

- ・ 人道的見地からなすべきことを第一に考える
- ・ 援助はそれを受ける人々の人種、信条あるいは国籍に関係なく、またいかなる差別もなしに行われる。援助の優先度はその必要性に基づいてのみ決定される。
- ・ 援助は、特定の政治的あるいは宗教的立場の拡大手段として利用されてはならない
- ・ 我々は政府による外交政策の手段として行動することがないように努める。

国際赤十字・赤新月運動および災害救援を行う非政府組織(NGOs)のための行動規範

- ・ 我々は文化と慣習を尊重する。
- ・ 我々は地元の対応能力に基づいて災害救援活動を行うように努める。
- ・ 援助活動による受益者が緊急援助の運営に参加できるような方策を立てることが必要である。
- ・ 救援は、基本的ニーズを充たすと同時に、将来の災害に対する脆弱性をも軽減させることに向けられなければならない。

国際赤十字・赤新月運動および災害救援を行う非政府組織(NGOs)のための行動規範

- ・ 我々は、援助の対象となる人々と、我々に寄付をしていただく人々の双方に対して責任を有する。
- ・ 我々の行う情報、広報、宣伝活動においては、災害による被災者を希望を失った存在としてではなく、尊厳ある人間として取り扱うものとする。

人道の敵

◆利己心
◆無関心
◆認識不足
◆想像力の欠如



J.S.ピクテ

『赤十字の諸原則』